

### 3. 商工・労働

|    | タイトル             | 意見等                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 徳島バッテリーバレー構想について | ○後藤田正純徳島県知事は徳島バッテリーバレー構想において、国から「徳島バッテリーバレー経済技術開発構造改革特区」の認定を受けて、ペロブスカイト太陽電池・全固体リチウムイオン二次電池・硫黄正極二次電池・ナトリウムイオン二次電池等の次世代バッテリー蓄電池の集積地にしなければならない。<br>※ 徳島県が「世界の次世代バッテリー蓄電池バレー工場」になる。<br>※ 徳島県が、アメリカのサンノゼのICTシリコンバレーのように世界に有名になる。                                          |
| 2  | 徳島バッテリーバレー構想について | ○後藤田正純徳島県知事は徳島バッテリーバレー構想において、国から「徳島バッテリーバレー経済技術開発構造改革特区」の認定を受けて、徳島県にGSユアサ、積水化学、東レ、村田製作所、旭化成、日立製作所、三菱ケミカル等のバッテリー蓄電池製造メーカーのバッテリー蓄電池製造生産工場の企業立地をしなければならない。<br>※ 後藤田正純徳島県知事は帝国データバンク徳島支店又は東京商エリサーチ徳島支店に、バッテリー蓄電池メーカーの企業信用調査を依頼しなければならない。                                 |
| 3  | タイ王国との国際交流について   | ○後藤田正純徳島県知事は12月2日からのパラグアイでの開催予定のユネスコ政府委員会において、日本の「日本の酒造り」がユネスコの世界無形文化遺産への正式な登録が決まる見通しになることを鑑みて、三菱商事を通じて「阿波酒」（松浦酒造の鳴門鯛など）をタイ王国に輸出の促進をしなければならない。                                                                                                                       |
| 4  | 国際定期便航空路線の就航について | ○後藤田正純徳島県知事は、11月16日からのグレーダー・ベイ・ラインによる徳島=香港線の国際定期航空路線の就航開始に合わせて、徳島県から国際航空貨物で、香港に向けて三菱商事を通じて、徳島県産の阿波米、阿波酒、阿波藍染め関連商品、阿波遊山箱、鳴門金時（特に里むすめ）などの輸出を促進しなければならない。                                                                                                               |
| 5  | 魅力度アップについて       | ○後藤田正純徳島県知事は、令和6年10月27日に執行した衆議院選挙で四国比例選挙区から当選した立憲民主党の高橋永を通じて、徳島県に博報堂のICTサテライト・オフィス徳島事務所を開設しなければならない。                                                                                                                                                                 |
| 6  | 国際定期便航空路線の就航について | ○後藤田正純徳島県知事は、11月16日からのグレーダー・ベイ・エアラインによる週3便の就航開始に伴って、香港特別行政区を含む珠江デルタ地域（中華人民共和国の広東省の省都の広州市・深?市・珠海市・東莞市・佛山市・中山市・澳門特別行政区）の経済発展や経済成長を徳島県に呼び込まなければならない。<br>※ 元園藤寿穂徳島県知事は広東省政府との間で「徳島県並びに広東省との友好交流に関する協議書」を締結している。                                                          |
| 7  | ドイツとの国際交流について    | ○後藤田正純徳島県知事はドイツ連邦共和国のニーダーザクセン州視察の際には、ニーダーザクセン州のヴォルフスブルグに本社工場の所在地のあるフォルクスワーゲン本社に要望して、徳島県にフォルクスワーゲンのPolo並びにGolfのEV電気自動車製造生産工場の企業立地をしなければならない。                                                                                                                          |
| 8  | 徳島空港の国際定期航空便について | ○後藤田正純徳島県知事は令和6年12月26日からのイースター航空による徳島=ソウル仁川線の就航開始を機会に、徳島県にサムスングループ及びLGグループの有機ELパネルディスプレイ製造生産工場の企業立地をしなければならない。又、徳島県にロッテワールドのテーマパークを誘致開業しなければならない。                                                                                                                    |
| 9  | 徳島バッテリーバレー構想について | ○後藤田正純徳島県知事は経済産業省大臣政務官を通じて、国から「徳島バッテリーバレー・経済技術開発構造改革特区」の認定を受けて、全固体リチウムイオン電池、ペロブスカイト太陽電池、全固体フッ化物イオン電池などの次世代バッテリー蓄電池の集積地にならなければならない。<br>※ 徳島県が徳島バッテリーバレー構想で「世界のバッテリー蓄電池工場」になる。<br>※ 徳島県バッテリーバレー構想において、百人以上の雇用力があるバッテリー蓄電池企業の百社以上の企業立地で「徳島バッテリーバレー・新規雇用壱万人雇用拡大事業」を推進する。 |
| 10 | 未来に引き継げる徳島       | ○後藤田正純徳島県知事は徳島県に仕事と雇用を増やすことをしなければならない。<br>※ 百人以上の雇用力がある大企業の百社以上の企業立地による「徳島壱万人新規雇用拡大事業」の実施<br>※ 徳島県における「正社員の完全雇用率100%の達成実現」の実行⇒県民税が増収となる。<br>※ 徳島県が国から「徳島県経済技術開発構造改革特区」の認定と「徳島県教育推進構造改革特区」の認定を受ける。                                                                    |